



ありんこ便り

2015 年

8 月 31 日発行

通巻第 23 号

由木かたくりの会の家族会「ありの会」会報



「ありの会」へのご意見・ご要望は、〒192-0355 八王子市堀之内 1236-8 社会福祉法人 由木かたくりの会 気付「ありんこポスト」までに郵送するか、ポストに直接投函して下さい。Eメールで送る場合のアドレスは《 arinko_renraku@yahoo.co.jp 》へ。ホームページは《 http://space.geocities.jp/arinko_renraku 》です。

「法人事業説明会」が開かれました

「由木かたくりの会」のH26年度の事業報告と収支決算報告、及び、H27年度事業計画の説明会が、7月17日(金)午後1時30分から、かたくりの家2F食堂において会員29名が参加して行われました。炭谷理事長から法人の全般的なことについて説明があり、そのあと今年度はレジャーとグループホームを加えた5事業所の責任者により、それぞれの事業所について説明が行われました。

ありの会会員との質疑応答と意見交換では、例えば、グループホーム関係で会員の 일부の方から法人側の対応に強い不満が出され、法人側もいろいろ説明したものの、十分な納得が得られないという事態が生じました。又、既に解決したはずの虐待問題についても、本当に完全解決しているのか若干の疑問がある、と提起された会員の方もおられました。

いずれも議論が長引いて、時間内に納得してもらうまでに至らず、中途半端で終わった形になり、再度議論の場を設けて欲しい、という要望が出されました。その後、ありの会(役員会)は、理事長と協議し、理事長からも積極的に問題解決に努めて頂くようお願いしました。又、ありの会としても、法人側との意見交換の場、あるいは、会員同士の議論の場をもう少し増やすとともに、前向きな議論が出来るように努力していきたいと考えています。



「フェスタかたかご」開催のお知らせ

今年で5回目を迎える「フェスタかたかご」は、11月7日(土)に開催される予定で、8月に実行委員会の活動がスタートしました。フェスタかたかごは、法人の事業として、利用者・職員が全員で参加する大きな行事となり、次の3点の目標を掲げて行われます。

- (1)施設の活動内容を地域の方々に知っていただくための良い機会にする。
- (2)メンバーが主体的に関わることにより、モチベーションを高める。
- (3)利用者・家族・職員・地域の方々の相互理解と親睦を深める。

この目的を達成するために、より多くの会員の方々に参加して頂き、強力なサポートをお願いします。

昨年は、全体的にはうまくいったと思いますが、大きな反省点もありました。それは、会場設営の手順と指揮系統が徹底

されていなかったため取り掛かりが大きく遅れ、利用者・職員・応援者の食事(焼きそば、など)が遅れて、来場者にも迷惑をかけてしまったこと、でした。今年はどういうことがないように、みんなで協力していきましょう。

就労のお祝い 嬉しいお知らせがあります！

◎ 由木工房 就労移行の水谷さんが富士フィルムへ入社しました

(由木工房)就労移行でお仕事をされていた水谷春菜さん(23歳)が、この度めでたく「富士フィルム」に就職が決まり、8月17日に入社されました。本当におめでとうございます。

水谷さんがかたくりの会を退会される日(8月7日)に、由木かたくりの会の炭谷理事長と家族会(ありの会)の田上会長(代行)からそれぞれ水谷さんに就労祝い金を手渡されました。かたくりの会から利用者が一般の会社に入社出来たことは、大変すばらしいことです。かたくりの会(由木工房・就労移行)で頑張ってこられたことが実を結んだものだと思います。仕事になれるまで最初は苦労されることもあると思いますが、是非頑張って下さい。仕事に就きたいと希望している仲間たちにとっても大変励みになるので、上手くいって欲しいですね。みんなで応援しましょう。



利用者・職員の異動、慶弔など

◎ 新職員の紹介

篠崎 吏子さん (由木工房)

石田 直人さん (由木工房)

中新井田 葉子さん (かたくりの家)

水谷 暁美さん (ぶらさ de かたくり)

村上 英二さん (グループホーム)

古市 欣裕さん (グループホーム)

飯島 祐史さん (グループホーム)

浅野 葉子さん (グループホーム)

◎ ご結婚

須藤 健一さん (かたくりの家、グループホーム)

“おめでとうございます”

◎ 退職

野崎 明美さん (かたくりの家、ベーカリー)

“長い間ありがとうございました”

会費未納者状況と協力をお願い

◎ 会計より

今年度の年会費(¥6,000)のお振り込みありがとうございました。

お忘れになっている方が数名いらっしゃいます。また、分割をご希望の方は、前期分(¥3,000)を早急にお振り込み下さい。また、ご相談のある方は会計までお電話を下さい。

会計：須賀、長橋

教えて！ ありんこポスト

かたくりの会でショートステイは出来ないの？ ～ ありんこポストに投函されていました ～

「かたくりの会でショートステイをしてくれるところはありませんか？」「緊急の時、グループホームでショートステイしてくれませんか？」という質問・お願いが、6月初め頃ありんこポストに投函されていました。

この件については、7月17日に開催された法人事業説明会で炭谷理事長から説明がありましたが、多くの会員の方が希望されていることでもありますので、改めて説明しておきます。

ショートステイという事業は、自由に(勝手に)やれるわけではありません。法人の定款(行なっている事業を定めたもの)に加える手続きをすると共に、事業運営体制を整えた上で事業申請し、承認を得なければ、ショートステイの事業を行なうことは出来ません。

理事長のお話では、ショートステイのみでは採算がとれないので、次のグループホーム開設を計画する場合に、ショートステイの事業も併せて推進する方向で検討したい、とのことでした。

ありんこポストの設置場所



ありんこポストは、かたくりの家1階、事務所の掲示板の右下に設置されています。

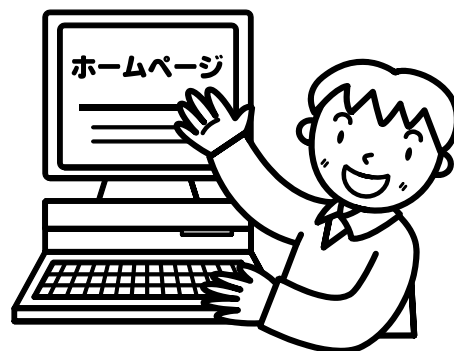
お知らせ

◎ 広報ワークグループより

8月7日にWGのミーティングを行いました。現在、備前・内山・浜津の3名で活動しており、主にホームページの更新やありんこ便りの制作の作業で役員会のサポートをしています。

今後の家族会活動の進展に向けての工夫や提案について話し合をしました。役員会にはかり、協議して少しずつ実現させて行きたいと思います。

ありの会のホームページの運営は5年目を迎え、内容もかなりのボリュームになって来ましたが、まだ会員の方々の利用状況は多くはないようです。会員の皆様も「ありんこホーム」や「ありんこ便り」など広報WGへの要望や意見をお聞かせ下さい。



◎ 「販売先の紹介」はお休みします

かたくりの会と私と

野口洋子

八王子市の法人認可のさきがけは「落の会」(元八王子)、平成13年であった。法人化はそのころの私の最大の関心事で、市内の施設の行事や会合には積極的に参加して情報収集につとめた。当初、かたくりの会にふさわしいと私がイメージした法人は最もハードルの低い小規模法人で、資産は1000万円くらい。このくらいならなんとかかなりそうに思われたが、現状に比べてどれほどのメリットがあるのかいまいち確信がもてなかった。

落の会を訪ねたり八王子市の福祉課と相談したりして、さらに学習を深めていくと、イメージした小規模法人程度では、どうも期待したほどのメリットは得られないように思われた。それで慌てずにしばらく様子を見ることとした。

様子見といっても、情報収集や見学、学習は進めていた。千葉県野田市の法人「こぶし園」の見学、飯田橋の社会福祉協議会、「平和の家」など。なかでも八王子療育センターの藤田進施設長は、目黒区にある民間施設「もえぎの会(しいの実社)」を法人化し、鉄筋3階建ての立派な施設を建設したが、この準備委員として長く関わってきた方であった。事務局の職員と何度もなんども押しかけて、書類の書き方から運営のノウハウまで教わった。大変多忙な方であったが、時間を割いて私たちに懇切に説明して下さった。いま思い出しても頭が下がる。《 前号まで 》

平成14年10月、八王子市障害者福祉課の岡部課長、平塚主任を訪ね、かたくりの法人化について相談する。岡部課長は、福祉に熱心な方で、我々の業界の人間に篤く信頼されていた方である。日頃コミュニケーションをとっていたので、私の思いや悩みを理解されることも早かった。市としても全面的に協力するからと繰り返しおっしゃっていただき、迷う私の背を押してくれた。市の協力とは、法人化にむけて市の段階から、次の都との交渉(これが一番の難物)において、市が積極的に後押しするという意味である。

こうして様子見から再チャレンジの負けん気が膨れ上がってくる。都福祉局から「社会福祉法人設立の手引き」をもらい、何度も読んで頭に叩き込む。それにしても申請、認可までの手続きは、素人でも時間をかければ、それなりに一步一步進むものとはとても思われなかった。膨大で複雑な書類を前に立ちすくんでしまうことがあった。

コンサルタント会社をつけるといいというアドバイスを、みずき福祉会のゼネラルマネージャー阿部三樹男氏からいただき、GO総合計画(株)を紹介される。この会社は、稲城市の「正夢の会」の創設時、地域住民の強力な反対運動に、粘り強く熱心に取り組んで開設させた実績があるということであった。

14年12月、かたくりの家(ログハウス)で、法人発起人の深谷誠氏、鈴木亨氏、私が集まり、GO総合計画の後藤社長、姉川氏と懇談する。資金面や新館の建設など私たちの手の届くものなのか矢継ぎ早に質問する。話を聞いているうちに思いのほかすんなりと実現しそうな安心した気分になる。いま思うに、さすがは商売人。彼らに較べたらこっちは素人も同然、うまく乗せられたんだなと笑ってしまうが。

12月末、都福祉局法人係施設整備と最初の協議に向く。深谷さんは仕事を休んで同行してくれた。彼は、法人化の件では自身の仕事よりかたくりの方を優先して動いてくれた。八王子市の岡部課長とは都庁の一階ロビーで待ち合わせた。私は、都・福祉局の役人と協議するのは初めての経験なので、かなり緊張・興奮気味であった。どんな質問にも前向きにしっかり応えることと自分に何度も言い聞かせた。こちらの計画に対し、都は矢継ぎ早に質問してきた。

創設法人の活動の基本目標はなにか。

授産事業にどんな構想を持っているか。

建物を建てる土地の確保は大丈夫か等々。

私がちょっと言い淀むと岡部課長がフォローしてくれた。彼の存在がなんとも心強かった。岡部課長に対しては、市の福祉に関する長期計画の中で、法人化されたとしてかたくりの会の位置付けとか市の資金助成のめどなどについて突っ込んでくる。このときの法人申請の内訳は、施設建設についての補助申請(建物、大型授産用備品等)は福祉局障害福祉部施設福祉課施設整備係。社会福祉法人認可に関する申請は福祉保健局指導監査が担当であった。

平成15年2月、八王子市でも歴史の古い「もくば会」が、入所施設を新たに創建して社会福祉法人に認可された。落成式に参列して、出席された方々のお話をうかがう。「もくば会」は、設立から17年、法人化をめざして準備委員会で検討を重ね、こつこつと資金を蓄えてきた。その長い努力と根気に頭が下がった。民間の施設を法人化するとは、やはり並大抵のこ

とではないのだと身につまされやる気が萎んでいくような不安におそわれる。ところが一方でじわじわ膨らんでくるものがある。かたくりは、ログハウスの建設からスタートして文化会館に喫茶を開店し、ぷらさ de かたくり の作業所を建設してがんばってきたではないか。「もくば会」が17年なら、こっちだって15年。なによりも保護者の団結力がある。準備委員会ほか関係者が一致協力すれば夢の実現は不可能ではない……。私は、気が沈んで椅子に座り込んだり、逆に高揚して立ちあがったりと、式が終えてからもすぐには動き出せなかった。

法人設立準備委員会の発足に向けて動きが急となる。発起人から、いままでにない新スタイルの法人設立をめざしている。設立準備委員は単に頭数を揃えるのではなく、福祉業界で実務に通じたベテランで、都に人脉を持ち、後々かたくりの運営にも携わっていただけるような人材を得たいという発起人の要望があった。それは理想的ではあるが、そんなスーパーマンみたいな人はいるかと逆に質問しながら、私の頭の中にふいと浮んできた人がいた。

伊藤勲氏がその人であった。この人の講演は何度も聴いていて印象に残っていた。経歴も、都の福祉行政に携わり、その後、日野市で作業所、グループホームなどを立ち上げていると聞く。働き盛りだし、この人以外にないくらいに思えてくる。でも直接の面識はなく話したこともなかった。どうやってコンタクトをとるか。もちろん人を介するのが常道だが、それではこちらの熱誠が薄められて、びしりと伝わらないのではないかと。

ちょうどそのころ彼の講演があった。私は会場に出向き、休憩時に彼の控室のドアをノックする。ちょっとときどきする。こう思ったらまっすぐに誠心誠意あたってみる。そうやっていくつかのハードルを乗り越えて来た(失敗したところもちろんあったが)。自分が何者か名乗り、法人化取得のために力を借してほしいと訴える。伊藤氏はさすがにちょっとびっくりした顔をしていたが、以前松木に住んでいたことがあり、かたくりの会の動きには、職業柄興味深く見ていたという話をされた。そのことばに押されて、私は一気に現在の状況を子細に述べ、準備委員として助けてほしいと訴える。伊藤氏は、どのあたりが運動のネックになっているか、さすがにピンときたようだ。

これが彼との最初の出会いで、やがて準備委員から、法人化されたかたくりの会の施設長に4年ほど就任されて、現在にいたるかたくりの会の基礎を作っていたことになったのであった。さっそくかたくりの会臨時定例会を開き、法人格申請にむけての協議内容を報告し、伊藤氏には大規模法人化について解説していただいた。

次いで、前述した「正夢の会」の本部の「パサージュいなぎ」に勤務する寺田純一氏に当たる。「パサージュいなぎ」は、GO総合計画が設計した建物であった。その縁で、「パサージュいなぎ」を親を交えて施設見学したりした。寺田氏は、「社会福祉法人とは」というタイトルの学習会の講師もされておられたが、説明が上手で落ち着いた雰囲気 of の紳士といった感じの方であった。ただ、準備委員として動ける余裕がないということで委員にはなっていられなかったが、準備に関わる助言などのご協力はたくさんいただいた。準備委員には医師も必要と、精神科医の小林美也子先生をご紹介いただいた。

法人申請をする前に協議書を提出しなければならないが、そこに法人運営の目的、授産事業の内容などを具体的に記述しなければならない。ぷらさ de かたくりのクッキーづくりはいいが、もう一つなにか欲しかった。パン製造などだろうか。利用者の特性に応じた作業が可能で、食品だけに日々の消費、購買につながる。利用者の工賃アップも可能と。そうしたことを考えるようになったのは、パン作りを試みる作業所がぼちぼち現れてきたこともあるが、なんといっても、その頃、メディアによく紹介されたスワンベーカーリーに刺激されたのであった。この方式なら、パン製造に経験のない利用者、スタッフにも取り入れやすいのではないかと、私の十八番の思いこみ(?)から、なんとすぐにスワンベーカーリーをまず見学に行ったのであった。保護者で設立準備委員の馬場さんが同行する。あの時も、今年のような連日の猛暑であったかどうか覚えていないが、暑くて暑くて汗だくでスワンベーカーリー赤坂店にたどりついた記憶がある。

午後の時間であったが、垢ぬけた広い空間の店内は満席であった。場所柄か外国人の客が多かった。障害を持った人たちの生き生きと働く姿、とくに女の子のとても好い表情が印象的であった。かたくりの利用者もこんなやりがいをもって働ける場ができたと思わずにはいられなかった。

(スワンベーカーリーについて)

「障がいのある人もない人も、共に働き、共に生きていく社会の実現」のノーマライゼーションの理念を実現させるために故・小倉理事長がヤマト福祉財団とヤマトホールディングス株式会社と共に設立した株式会社。フランチャイズチェーン方式(本部企業による運営の計画、指導、管理のもと、契約を結んだ加盟店が商標や商品・サービス、経営のノウハウを受け、販売活動を行う事業形態)で、パンの製造、販売、カフェ店を開く。1998 年スワンベーカーリー銀座店が第1号店として、現在直営店4店、チェーン店は24店をこえる。働いている障がいの者の数は、全店で370名をこえ、知的、精神、身体の障がい者を雇用し、その7割以上が、知的障がい者。独自に開発した冷凍パン生地を使えば障がい者でもパンが焼くことができることと月給10万円以上の支払いを実証する。

当時、スワンベーカーリー赤坂店のスタッフであった大森八重子さんに相談する。大森さんは、南大沢の喫茶コーナーを開店するため1年間ほど準備室を設けたときの準備委員として参加いただいた方で、当時は稲城社会福祉協議会の運営する「陽だまり」の店長だった。退職後、スワンベーカーリー赤坂店に勤務していた。その縁で、前述の見学と店長の増田秀暁氏に会うために赤坂店を訪ねたのであった。増田氏には法人設立準備委員にまでなってもらったが、本業の方が多忙で準備委員として会合に毎回出席できないような状況が続き、準備委員の方は辞退された。ただ増田氏の住まいが、八王子市の別所であったので、多忙なスケジュールの中でも、パン作りにアドバイスしていただいた。その後、スワンベーカーリーのチェーン店にはならなかったが、下柚木(大田平橋近く)に「ぶらさ de かたくりⅡ」を開店、パン作りの試行が始まった。それが現在のB型ベーカーリーへと展開してきたのはいうまでもない。

平成15年の東京都障害者地域生活支援緊急3カ年プランによる特別助成として、施設整備は1/2、用地助成は従来の2/3から3/4に引き上げる特別措置が通知された。かたくりにとってはまさに渡りに船、これによってかたくりの会の新館の建設にめどがつき、法人化に向かって一気に弾みがついた(残りの資金面ではずいぶん苦労するのではあるが)。

平成15年3月末日、ぶらさの作業所にて、法人設立準備委員会が発足し、「法人設立趣意書」を採択する。準備委員、運営委員は以下のごとくである。(つづく)



パン作りの実習 ぶらさ de かたくりⅡ (2004年6月ころ)

創設法人「(仮称)かたくりの会」法人設立準備委員会

(発起人 代表)	野口 洋子	「かたくりの会」代表、知的障がい者相談員
(発起人副代表)	鈴木 亨	土地寄付者・酪農経営
(発起人副代表)	深谷 誠	公認会計士

(以下アイウエオ順)

生田 茂	東京都立大学教授
伊藤 勲	NPO 法人「やまぼうし」専務理事
小林美也子	精神科医
富永 一夫	NPO 法人「Fusion 長池」代表
馬場 照子	「かたくりの会」保護者代表
平松 和也	弁護士 シグマ麹町法律事務所
増田 秀暁	(株)スワン取締役赤坂店店長

「かたくりの会」運営委員.....

委員長	野口 洋子
副委員長	深谷 誠
書記	小川原健太
委員	馬場 照子
委員	渡辺 敦子
委員	鈴木 亨(地域)
委員	加藤エイ子(府中朝日養護学校教員)
委員	小金淵敏之(ぶらさ de かたくり所長)
委員	藤田 康子(かたくりの家所長)